## (イ) テーマ2

事業体制を再編し、各材料の機能評価について、①in vivo評価は京都大学医学研究科、②MR画像は滋賀医科大学、③毒性評価は日本新薬㈱、④物性・動態評価はテルモ㈱、が実施する体制とした。

また、各イメージング材料を次世代DDS材料に集約化することを技術開発の目標に定めた。

これに伴い、次のとおり研究テーマの組み直しを実施した。

	1	
フェーズ I (平成 18年度)		フェーズⅡ(平成19年度)
中テーマ1		中テーマ1
素材開発		融合ナノ材料によるイメージング・ターゲティ
		ングおよびDDS材料の開発・試作
小テーマ①		小テーマ①
刺激応答ナノ磁性複合粒子の開発		刺激応答ナノ磁性複合粒子の融合材料開発
小テーマ②		小テーマ②
腫瘍特異的プローブの開発		腫瘍特異的プローブの融合材料の開発
小テーマ③	] \ \	小テーマ③
低酸素特異的融合タンパク質によるナ	$\overline{}$	低酸素特異的融合タンパク質の融合材料の
ノ複合材料の開発		開発
小テーマ④		小テーマ④
疾患特異的ナノキャリアの開発		疾患特異的ナノキャリアの融合材料開発
中テーマ 2		中テーマ 2
イメージング・ターゲティング材料、D		融合ナノ材料によるイメージング・ターゲティ
DS材料開発		ングおよびDDS材料の評価・実用化検討
小テーマ①		
イメージング・ターゲティング材料の		
開発・試作	] /	
小テーマ②	V	
DDSの開発・試作		

図14 テーマ2の研究テーマの推移

## (3)研究成果

様式6に示す。